

# LARC *Shield*

## ロールスクリーン ラルクシールド

ラルクシールド

### 取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

### 販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、  
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。



#### 警告

コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。  
事故の恐れがあります。



日本フラインド工業会

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています



# 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない禁止の行為です。



必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください



## 警告

- お子様を製品に近づけないでください。  
操作チェーンが体に巻きつく等して、思わぬ事故を招く恐れがあります。操作時以外は操作チェーンをコードクリップでお子様の手の届かない位置にたばねてください。
- （チェーン式、チェーン持出し操作式、ワンタッチ式の場合）  
お子様の手の届く位置に操作チェーンをたばねると、事故をまねく恐れがあります。
- 小さなお子様がいらっしゃるご家庭では、製品の近くにソファやベッドを置かないでください。操作チェーンに手が届き、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
- 火のそばではご使用にならないでください。  
製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



# 安全上のご注意（必ずお守りください）

## ⚠ 注意

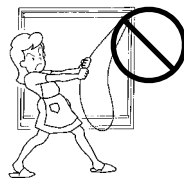
■製品にぶら下がったり、無理に引っばったり、急激な操作をしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

■製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損することがあります。

■風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故をまねく恐れがあります。

⊘ ウェイトバーや生地、操作チェーン等製品をふみつけたり、寄りかからないでください。製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

⊘ 分解や改造をしないでください。製品が破損したり、落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



## お取付けになる前にお読みください

## ⚠ 警告

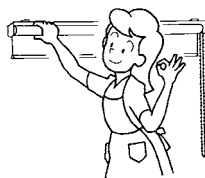
⚠ 製品重量に耐えられる下地に取付けてください。製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

## ⚠ 注意

⊘ 付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。

⚠ 木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

⚠ 本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



## 使用環境上のご注意（必ずお守りください）

---

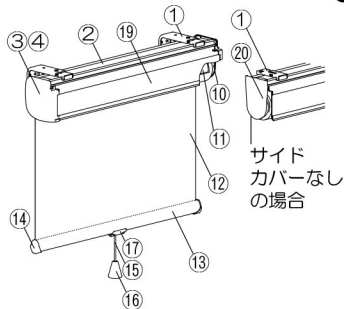
### 注意

---

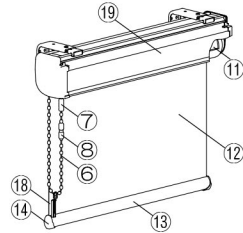
-  この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。
-  蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品の機能低下、または不具合発生の原因となります。
-  水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミなどが発生することがあります。
-  窓を開けての直射日光を生地に当てないでください。生地が極端に退色、変色することがあります。

# 各部の名称

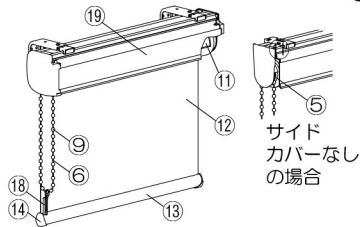
- プルコード式
- プルコード式  
くりミット  
ストッパー付き  
(オプション)＞



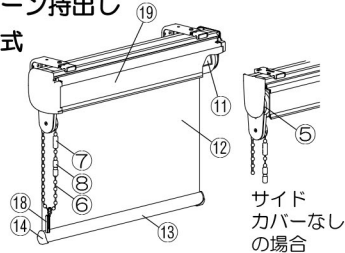
- チェーン式



- ワンタッチ式



- チェーン持出し  
操作式



|           |             |                 |
|-----------|-------------|-----------------|
| ①取付けブラケット | ⑧セーフティコネクター | ⑮プルコード          |
| ②フレーム     | ⑨セーフティチェーン  | ⑯プル             |
| ③サイドブラケット | ⑩調整ダイヤル ※1  | ⑰プルコードサポート ※2   |
| ④サイドカバー   | ⑪巻取りパイプ     | ⑱コードクリップ ※3     |
| ⑤操作部      | ⑫生地         | ⑲シールド           |
| ⑥操作チェーン   | ⑬ウェイトバー     | ⑳サイドブラケットカバー ※4 |
| ⑦コネクター    | ⑭ウェイトバーキャップ |                 |

※1…リミットストッパーをオプション指定した場合のみ付属      ※2…ウォッシュブル生地のみ付属  
※3…操作チェーンを束ねる際にお使い頂く、安全補助部品      ※4…サイドカバーがない場合のみ付属

## 付 属 品

| 部品名<br>製品幅 (mm) | 取付けブラケット                      |                       | ブラケット<br>取付けビス | 巻きずれ調整<br>シール |
|-----------------|-------------------------------|-----------------------|----------------|---------------|
|                 | 天井付け・正面付け<br>(正面付け補助金具を使用しない) | 正面付け<br>(正面付け補助金具を使用) |                |               |
|                 |                               |                       |                |               |
| ～1500           | 2 個                           |                       | 4 (6) 本        | 1 枚           |
| 1505～2500       | 3 個                           |                       | 6 (9) 本        | 1 枚           |
| 2505～2700       | 4 個                           |                       | 8 (12) 本       | 1 枚           |

# 製品の取付けかた

必要な工具：プラスドライバー、巻尺（スケール）

## 1) 製品の確認



### 注意

製品の変形、破損、付属品の不足等がないことを確認してください。  
異常がある場合は取付けできませんのでお買い上げいただいた販売店、最寄の弊社支店までご連絡ください。

## 2) 取付け下地の確認

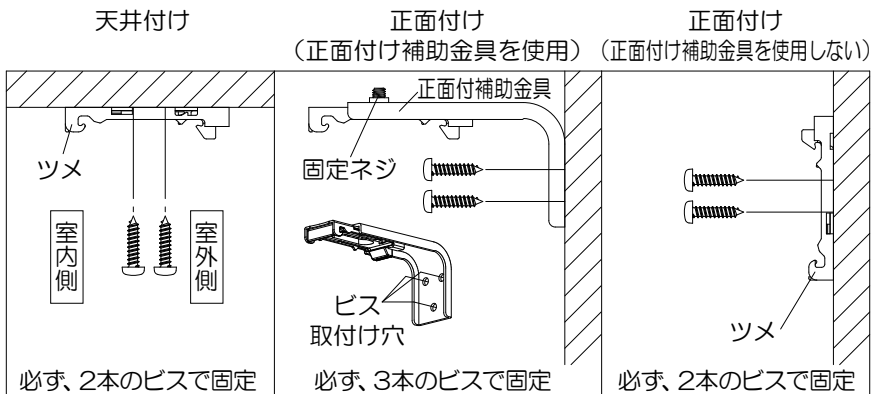


### 注意

- ・製品に付属しているビスは木部用ですので、木部以外の下地（石こうボード等）にご使用になれません。
- ・木部に取付ける時は、厚さが10mm以上であることを確認してください。
- ・石こうボード等で木部下地まで付属のビスが届かない場合は、別途長いビスをご使用ください。
- ・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
- ・取付け部が水平になっているか確認してください。
- ・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

## 3) 取付けブラケットの取付け

- 取付けブラケットの取付け方には、以下の通りあります。



### 注意

取付けブラケットは以下の内容を順守して固定してください。  
製品が落下して思わぬ事故をまねく恐れがあります。

#### 天井付け

取付けブラケットのツメは必ず室内側に向けて固定してください。

#### 正面付け

(正面付け補助金具を使用)  
正面付け補助金具の固定ネジは絶対にゆるめないでください。

#### 正面付け

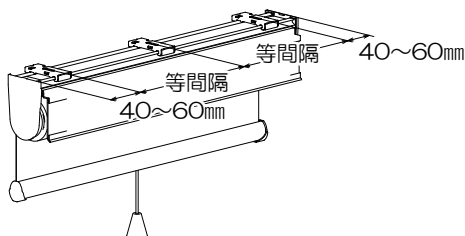
(正面付け補助金具を使用しない)  
取付けブラケットのツメは必ず下に向けて固定してください。

# 製品の取付けかた

- ・取付けブラケットは取付け面に一直線上に並べて付属のビスで固定してください。

## ＜取付け間隔＞

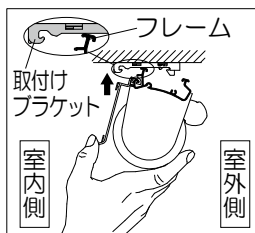
- ・まず、製品の左右両端からそれぞれ40～60mmの位置に取付け、ブラケットを付属のビスで固定してください。
- ・取付けブラケットが3個以上ある場合、取付けブラケットを付属のビスで等間隔に固定してください。



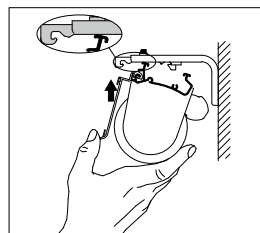
## 4) 製品の取付け ＜天井付け・正面付け（正面付け補助金具を使用）の場合＞

- ①ロールスクリーン本体を図のように両手で持ち、フレームを取付けブラケットに当てて下さい。

天井付け



正面付け  
（正面付け補助金具を使用）

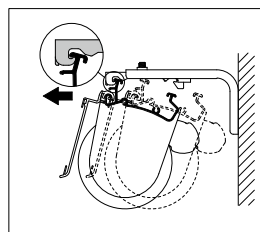
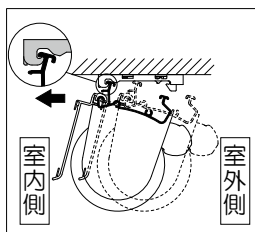


## 注意

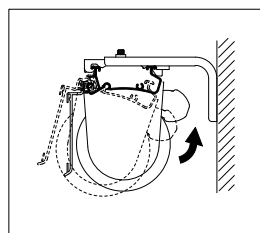
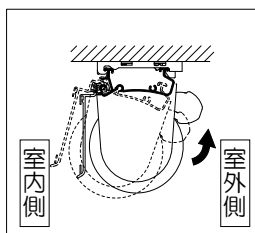
製品を持つときには、シールドの生地がずれないように注意して、取付けを行なってください。

- ②フレームを当てたまま手前に引き、取付けブラケットのツメに引っ掛けて下さい。

＊引っ掛けた状態で、左右の位置を調整することができます。

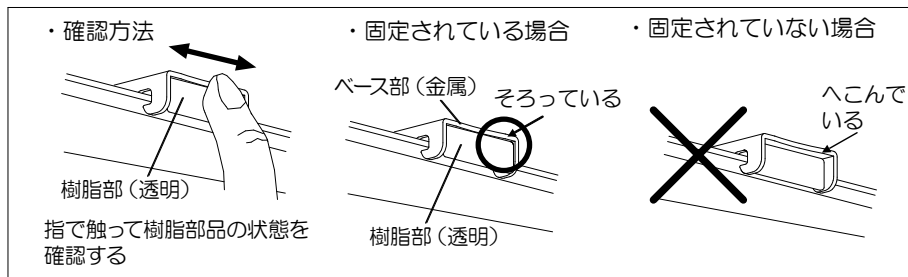


- ③フレームを矢印の方向に持ち上げ、「カチッ」と音がするまで押しつけてください。

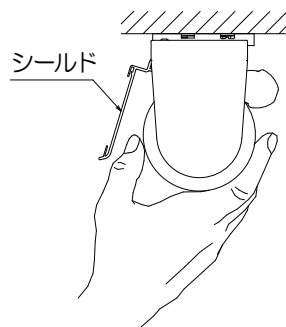


# 製品の取付けかた

④全ての取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。



⑤製品を各ブラケット位置で右図のように持ち軽く押して製品が確実に取付けられていることを確認してください。シールドは持たないようにしてください。また、生地を汚さないよう注意してください。



**注意**

製品をしっかり支えて押してください。  
確実に固定されていないと製品が落下し、  
思わぬ事故をまねく恐れがあります。

グラグラしたり、外れる場合→4) 製品の取付けに従い、正しく取付けてください。



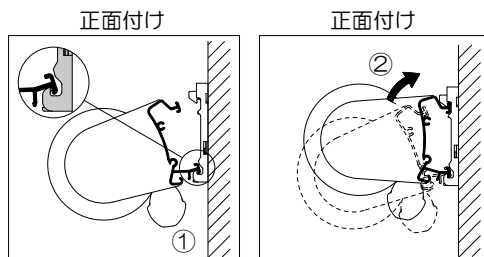
**注意**

製品取付け時には、取付けブラケットに製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

5) 製品の取付け <正面付け (正面付け補助金具を使用しない) の場合>

①ロールスクリーン本体を両手で持ち、取付けブラケットのツメにフレームを下から引っ掛けてください。  
\*引っ掛けた状態で、左右の位置を調整することができます。

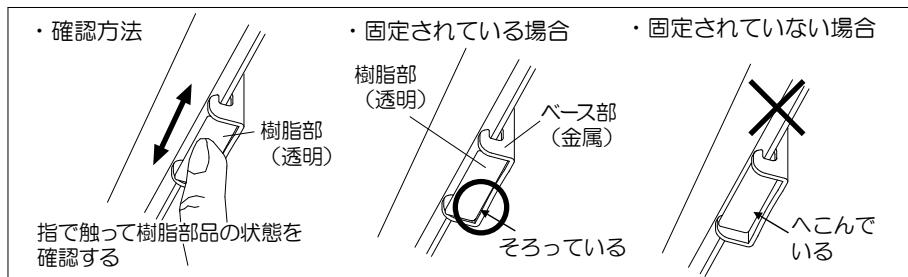
②フレームを矢印の方向へ「カチッ」と音がするまで押しつけてください。





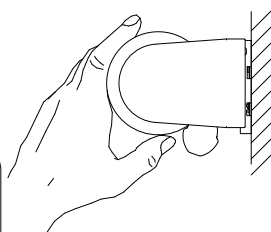
# 製品の取付けかた

③全ての取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。



④各ブラケットの位置で製品を右図のように持ち軽く押し上げて製品が確実に取付けられていることを確認してください。

生地を汚さないよう注意してください。



**注意**

製品をしっかり支えて押し上げてください。  
確実に固定されていないと製品が落下し、  
思わぬ事故をまねく恐れがあります。

グラグラしたり、外れる場合→5) 製品の取付けに従い、正しく取付けてください。



**注意**

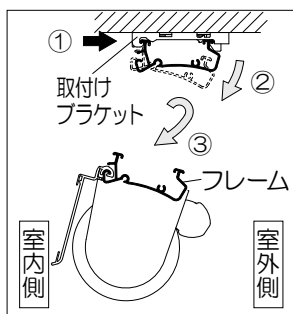
製品取付け時には、取付けブラケットに製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

# 製品の取外しかた

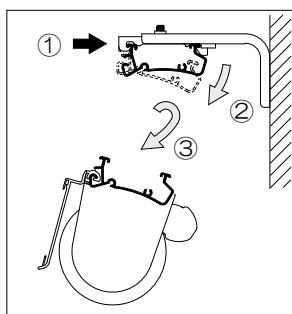
- ①取付けブラケットの樹脂部 (透明) を指で押しながら
- ②フレームを矢印の方向に傾けて
- ③取付けブラケットのツメからフレームを外して下さい。



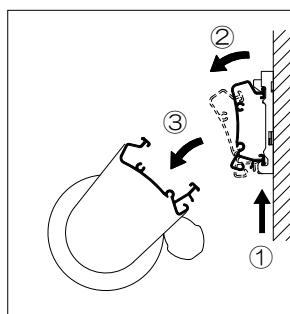
天井付け



正面付け  
(正面付け補助金具を使用)



正面付け  
(正面付け補助金具を使用しない)



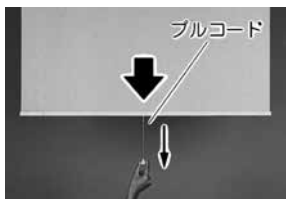
# 操作のしかた

操作方法は、プルコード式、チェーン式、チェーン持出し操作式、ワンタッチ式の4種類があります。

## ●プルコード式

※昇降時、生地がシールドに触れてこすれる音が発生しますが、故障ではありません。

《降ろすとき》

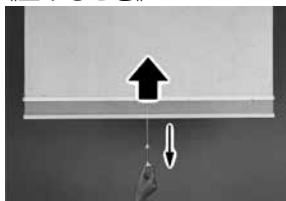


プルコードを真下に引いて手を放すとその位置で止まります。

### 注意

巻取りパイプが露出するまで生地を降ろさないでください。生地を巻き上げることができなくなる場合があります。

《上げるとき》



プルコードを真下に少し引いてから手を放すとゆっくり巻き上がります。途中で止める時は再びプルコードを少し真下に引くと止まります。

リミットストッパー（オプション）が装備されている製品は、設定した高さで生地が止まります。  
（20ページ参照）

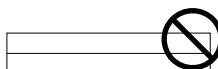


### 注意

プルコードは斜めに引かないでください。プルコードがウェイトバーの中心にある状態で真下に引いてください。また、ウェイトバーを手で持って操作しないでください。ウェイトバーの中心を引いて操作しないと巻きずれる原因となります。



斜め引き禁止



中心以外操作禁止



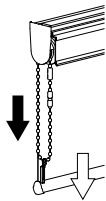
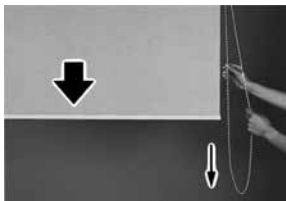
ウェイトバー  
手で操作禁止

# 操作のしかた

## ●チェーン式・チェーン持出し操作式

※昇降時、生地がシールドに触れてこすれる音が発生しますが、故障ではありません。

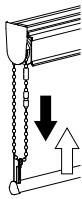
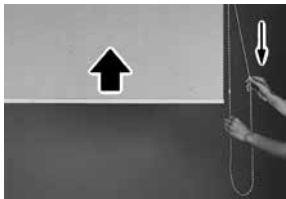
《降ろすとき》



奥（室外側）※ の操作チェーンを真下に引き続けると生地が降り、引くのをやめるとその位置で止めることができます。

※逆巻き使い（オプション）の場合は、手前（室内側）

《上げるとき》



手前（室内側）※ の操作チェーンを真下に引き続けると生地が巻き上がり、引くのをやめるとその位置で止めることができます。

※逆巻き使い（オプション）の場合は、奥（室外側）

逆巻き使い（オプション）の場合は、生地が上まで完全に巻き上がりません。止まった位置からチェーンを引かないでください。

### 注意

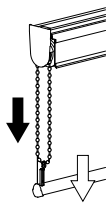
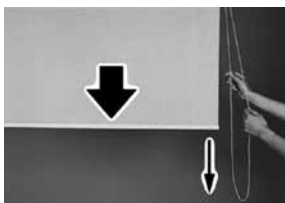
- ・ 操作チェーンは真下にゆっくり引いて操作してください。急激に操作したり、操作チェーンを斜めに引くと巻きすれや製品破損の原因になります。
- ・ 生地が降りきると操作チェーンを引くことができなくなりますので、無理に引続けないでください。さらに引続けると部品破損により生地が逆巻き（奥（室外側）の操作チェーンを引いても生地が上がる状態）になり、製品破損の原因になります。
- ・ 生地の上昇操作は操作チェーンを引いておこなってください。生地やウェイトバーを引くと製品破損の原因になります。

# 操作のしかた

## ●ワンタッチ式

※昇降時、生地がシールドに触れてこすれる音が発生しますが、故障ではありません。

《降ろすとき》



奥（室外側）※ の操作チェーンを真下に引き続けると生地が降り、引くのをやめるとその位置で止めることができます。

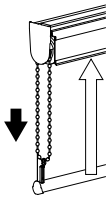
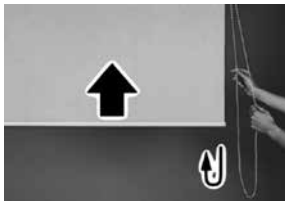
※逆巻き使い（オプション）の場合は、手前（室内側）



**注意**

巻取りパイプが露出するまで生地を下ろさないください。そのまま操作チェーンを引続けると生地が巻取りパイプに逆に巻き取られ、生地を上げるときには生地が急激に落下し、危険です。

《上げるとき》



奥（室外側）※ の操作チェーンを少し引いてから手を放すと巻き上がります。途中で止める時は、再び奥（室外側）の操作チェーンを少し引いて（生地が少し下がります）手を放すと止まります。

※逆巻き使い（オプション）の場合は、手前（室内側）

**注意**

- ・操作チェーンは真下にゆっくり引いて操作してください。急激な操作や操作チェーンの斜め引きは巻きずれや製品破損の原因になります。
- ・生地の上昇操作は操作チェーンを引いておこなってください。生地やウェイトバーを引くと製品破損の原因になります。

## ＜チェーン式・チェーン持出し操作式・ワンタッチ式の場合＞



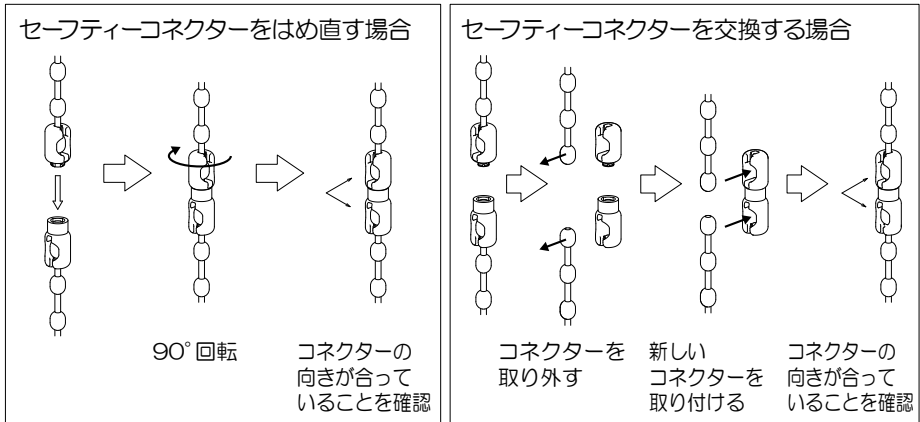
**注意**

- ・小さなお子様がいる場合、操作をしない時は必ずコードクリップで操作チェーンをお子様の手の届かないところでたばねてください。
- ・奥と手前の操作チェーンを同時に引かないでください。製品破損や製品落下の原因になり、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

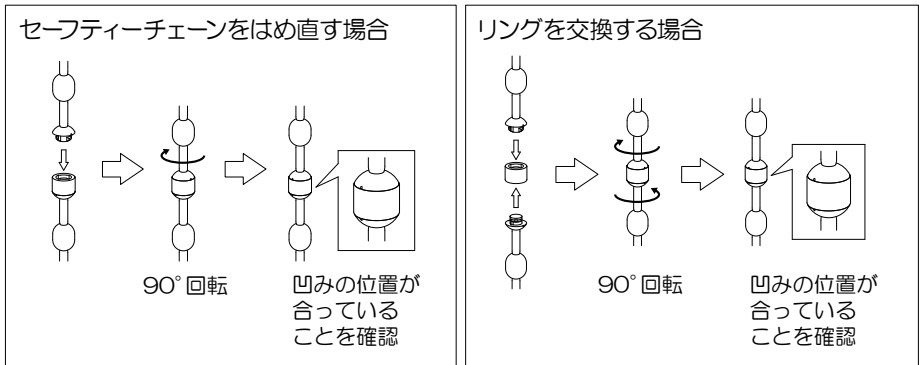
# 操作のしかた

※操作チェーンには「セーフティーコネクター」または「セーフティーチェーン」を組み込んでいます。これは、操作チェーンに通常操作以上の負荷が掛かった場合などに操作チェーンを分割させる仕組みの部品です。操作チェーンが何かに引掛かったりして操作中に外れてしまった場合、はめ直してご使用いただけますが、分割しやすくなりますことがありますので、「セーフティーコネクター」または「リング」を交換する必要があります。お買い上げいただいた販売店・最寄りの弊社支店までご連絡ください。

## 《チェーン式》



## 《ワンタッチ式》



# 巻取りスピードの調整のしかた

製品出荷時にスプリングの調整をおこなっていますが、生地巻取りスピードや操作力を  
変えたい場合、また完全に巻き上がらない場合は、以下の方法で調整をおこなってください。

## ●調整方法

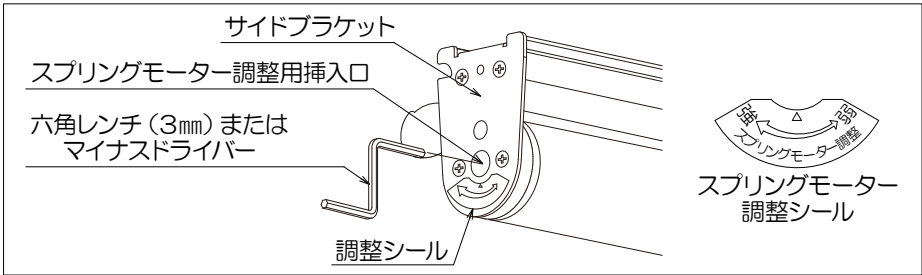
必要な工具：六角レンチ(3mm)※またはマイナスドライバー

※ウォッシュابل生地でプルコード式またはワンタッチ式には付属

下表を参考に、調整位置側のサイドカバーまたはサイドブラケットカバーを外し(14ページ参照)、六角レンチまたはマイナスドライバーで【強】または【弱】の方向にまわしてください。

| 操作方式   | 調整位置        | まわす方向                         |              |
|--------|-------------|-------------------------------|--------------|
|        |             | 強                             | 弱            |
| プルコード式 | 製品を正面から見て左側 | 巻取りスピードを速くする<br>スプリングの初期巻きをする | 巻取りスピードを遅くする |
| ワンタッチ式 |             |                               | 下降時の操作力を軽くする |
| チェーン式※ | 操作チェーンのない側  | 巻取り時の操作力を軽くする                 |              |

※製品幅が450mm以下の場合等には、スプリングが入らないため、調整はできません(チェーン式のみ)。



※図はシールドなし

## 注意

過度にスプリングを強くすると製品破損の原因になります。生地巻取り  
スピードや操作力を確認しながら、調整をおこなってください。

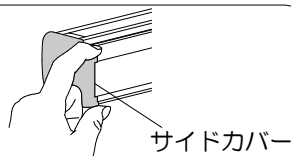
# サイドカバー又はサイドブラケットカバーの取外しかた

製品のメンテナンスのため製品に付いているサイドカバーおよびサイドブラケットカバーの取外しが必要な場合があります。

## 1) サイドカバーの取付け・取外しかた

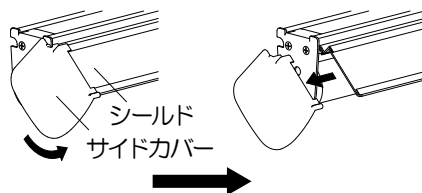
### 注意

サイドカバーは必ず右図の様に持って作業をおこなってください。  
他の箇所を持つとサイドカバーが破損する場合があります。



### ①取外しかた

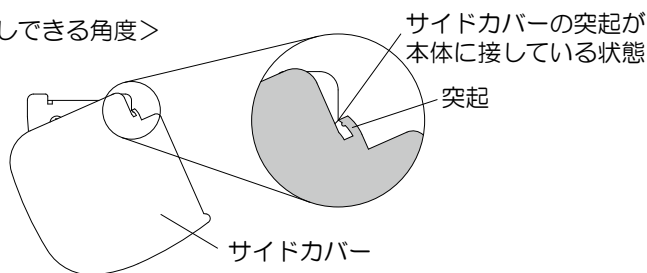
右図のように、シールドごとサイドカバーを矢印方向に持ち上げます。下図「付け外しできる角度」の状態ではサイドカバーをシールドから引き抜きます。サイドカバーが本体に引っかかる場合は「付け外しできる角度」ではありません。



### 注意

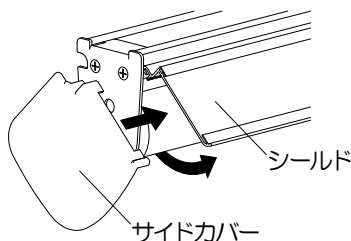
サイドカバーが本体に引っかかる状態で無理に外そうとするとサイドカバーが破損する恐れがあります。

### <付け外しできる角度>



### ②取付けかた

右図の通り、シールドを持ち上げます。持ち上げた状態でサイドカバーをシールドに元通りに組合せます。組合せる角度は①取外しかたと同様に「付け外しできる角度」に合わせてシールドを持ち上げてください。サイドカバーが本体に引っかかる場合は「付け外しできる角度」ではありません。



### 注意

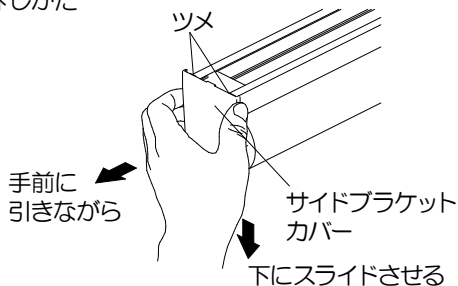
作業中にシールドの生地が外れる場合がありますが、元通りシールド上下の溝に生地を差し込んでください。

## サイドカバー又はサイドブラケットカバーの取外しかた

### 2) サイドブラケットカバーの取付け・取外しかた

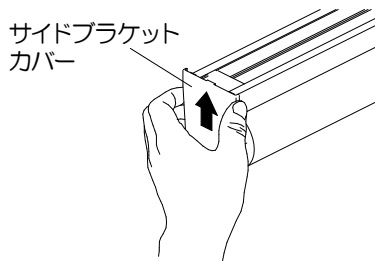
#### ①取外しかた

右図の通り、サイドブラケットカバーを持ち、サイドブラケットカバーの内側にあるツメを外すように手前に引きながら下に向けてスライドさせて外します。



#### ②取付けかた

右図の通り、サイドブラケットカバーを持ち、下から矢印方向にスライドさせて取付けます。



### 注意

作業中にシールドの生地が外れる場合がありますが、元通りシールド上下の溝に生地を差し込んでください。



# 正面付け（正面付け補助金具なし）への切換えのしかた

ワンタッチ式・チェーン式は、天井付け・正面付けを切り替えることができます。

※正面付けに切換えると、シールドおよびサイドカバーを取付けることはできませんのでご注意ください。

必要な工具：プラスドライバー、マイナスドライバー

## ●ワンタッチ式の切替え方法（操作チェーン側の側面で切り替えます）

1) 製品を取付けブラケットから取外します。

（8ページ参照）

2) サイドカバーなしの場合、操作側（操作チェーン側）のサイドブラケットカバーを取外します。（15ページ参照）

3) シールド付きの場合、両側のサイドカバーまたは、右側のサイドブラケットカバーを取外し（14ページ参照）、右側からシールドを抜いて、取外します。（図1参照）（左側からは取外せません）

4) プーリーカバーを外します。操作側にあるプーリーカバーの上端のツメの下にマイナスドライバーを挿し込み、マイナスドライバーをねじるようにして、開いた状態にします。（図2参照）

5) フレームを90°回転させます。  
フレームを図のように奥側に90°回転させます。（図3参照）

6) プーリーカバーを固定します。（図4参照）

①プーリーカバーのローレット（ギザギザ）が図のように真下にくるようにして、プーリーカバー凸部をプーリーの凹部に合わせ

②図の矢印の方向に力を加えながら

③最後に矢印の方向から押込み、プーリーカバーのツメを引掛けて固定します。

※この時プーリーカバーのツメが確実に引掛かっていることを確認してください。

※サイドブラケットは外さないでください。

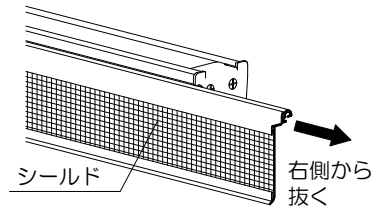


図1

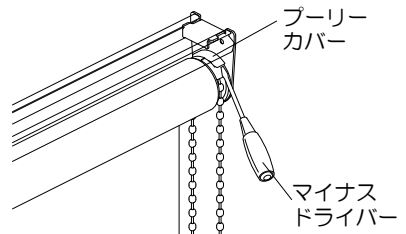


図2

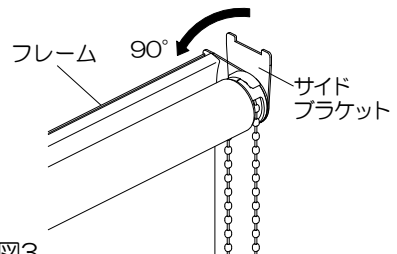
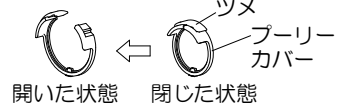


図3

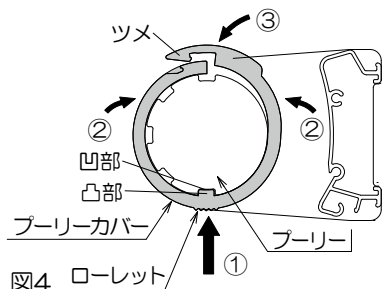


図4

# 正面付け（正面付け補助金具なし）への切換えのしかた

7) サイドブラケットカバーを取付けます。（15ページ参照）

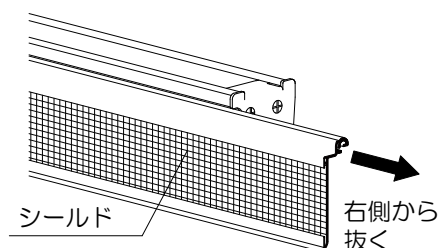
※切替え後は、シールドを取付けられませんので、サイドカバーの取付けは不要です。

## ●チェーン式の切り替え方法（操作チェーン側の側面で切り替えます）

1) 製品を取付けブラケットから取外します。

（8ページ参照）

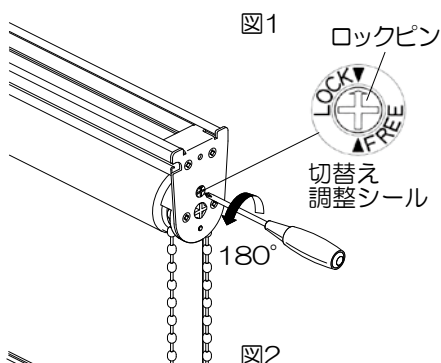
2) サイドカバーなしの場合、操作側（操作チェーン側）のサイドブラケットカバーを取外します。（15ページ参照）



3) シールド付きの場合、両側のサイドカバーまたは、右側のサイドブラケットカバーを取外し（14ページ参照）、右側からシールドを抜いて、取外します。

（図1参照）

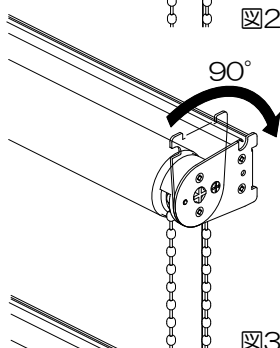
（左側からは取外せません）



4) ロックピンを解除します。

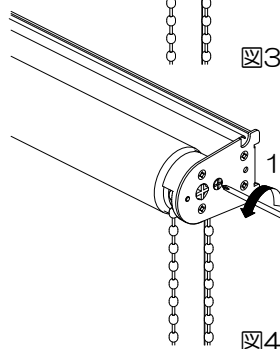
操作側のサイドブラケットに付いているロックピンをプラスドライバーで180°回転させ、矢印をLOCKの状態からFREEの状態にします。（図2参照）

※ロックピン以外のネジを絶対に回さないでください。



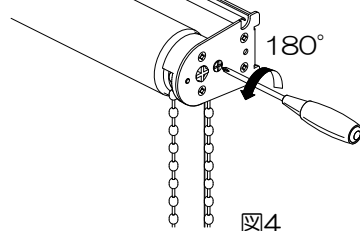
5) フレームを90°回転させます。

フレームを図のように奥側に90°回転させます。（図3参照）



6) ロックピンを固定します。

ロックピンの矢印をプラスドライバーでFREEの状態からLOCKの状態に180°回転させます。（図4参照）



# 正面付け（正面付け補助金具なし）への切換えのしかた

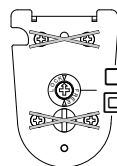
7) サイドブラケットカバーを取付けます。（15ページ参照）

※切替え後は、シールドを取付けられませんので、サイドカバーの取付けは不要です。



**注意**

サイドブラケットのネジは絶対にゆるめないでください。ネジをゆるめると製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



ロックピン以外を回してはダメ

## ワンタッチ式左右転換のしかた

ワンタッチ式は操作位置の変更ができます。

必要な工具：マイナスドライバー

### ●右操作から左操作への切り替え方法

1) 製品を取付けブラケットから取外します。（8ページ参照）

2) 両側のサイドカバーまたはサイドブラケットカバーを取外します。（14ページ参照）

3) シールド付きの場合、右側からシールドを抜いて、取外します。（図1参照）（左側から外せません）

4) プーリーカバーを外します。  
操作側にあるプーリーカバーのツメの下にマイナスドライバーを差し込み、ドライバーをねじるようにして開き、取外します。（図2参照）

5) シャフトカバーを外します。  
非操作側についているシャフトカバーを図のように製品の裏側からマイナスドライバーで外します。（図3参照）

6) 操作チェーンを反対側に移動させます。（図4参照）

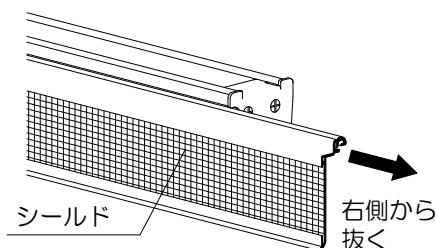


図1

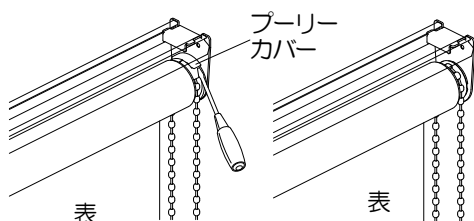


図2

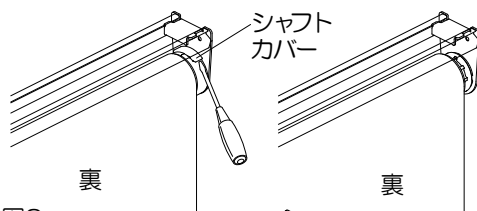


図3

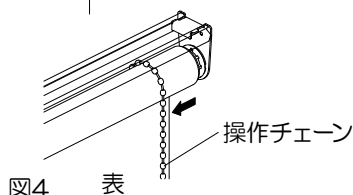


図4

# ワンタッチ式左右転換のしかた

7) プーリーカバーを取付けます。(図5参照)

- ①プーリーカバーを移動した操作チェーン側に、図のような方向で差し込みます。
- ②プーリーカバーのローレット(ギザギザ)を図のように真下にして、プーリーカバーの凸部をプーリーの凹部に合わせ、
- ③図の矢印の方向に力を加えながら
- ④図の矢印の方向(製品正面)から押し込み、プーリーカバーのツメを引掛けて固定します。

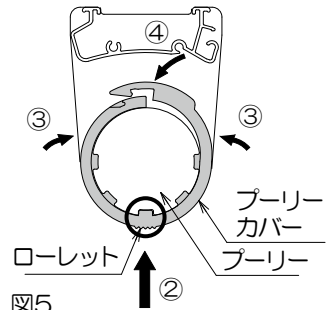


図5

8) シャフトカバーを取付けます。(図6参照)

- ①シャフトカバーを操作チェーンと反対側に、図のような方向で差し込みます。
- ②シャフトカバーのローレット(ギザギザ)を真下にして、シャフトカバーの凸部2箇所をプーリーの凹部2箇所に合わせ
- ③図のように矢印の方向からはめ込みます。

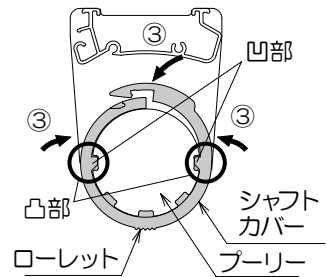


図6

9) シールドを元通り取付け、サイドカバーまたはサイドブラケットカバーを取付けます。

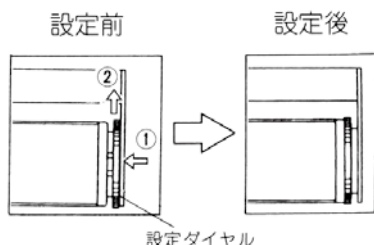
(14ページ参照)

# リミットストッパー(オプション)の設定のしかた

プルコード式でリミットストッパー（オプション）を選択した場合のみ、生地巻き上げ時の停止位置をお好きな高さに設定できます。

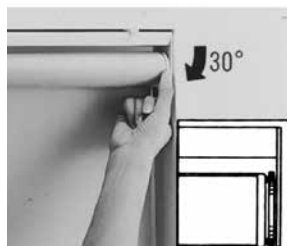
## ●設定のしかた

- 1) 製品を取り付けた状態で止めたい位置（巻き上げ時の停止位置）まで生地を降ろしてください。
- 2) 製品右側の設定ダイヤルを、①生地側に押しながら②手前から奥へ約60°（回転の止まる位置まで）まわします。



## ●微調整のしかた

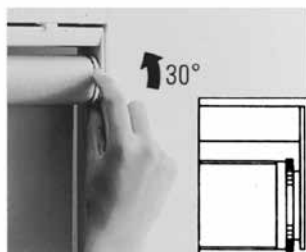
- 1) 設定された状態から、設定ダイヤルを手前に30°まわすと、微調整が可能な状態になります。



- 2) ご希望の停止位置まで、手で巻取りパイプを回転させ微調整してください（手でウェイトバーを下に引いても可）。



- 3) 設定ダイヤルを再び、手前から奥へ30°（回転の止まる位置まで）まわせれば設定されます。

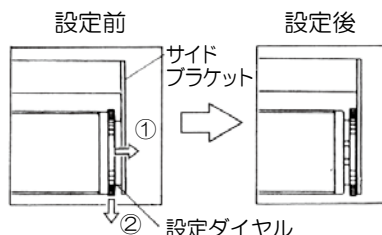


※図・写真はシールドなし

# リミットストッパー(オプション)の設定のしかた

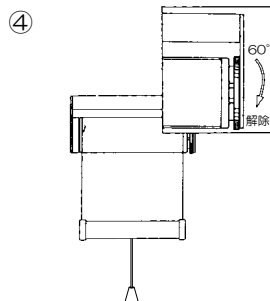
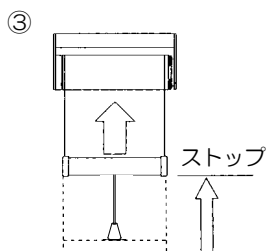
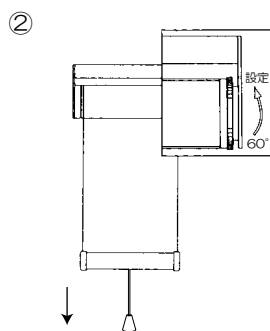
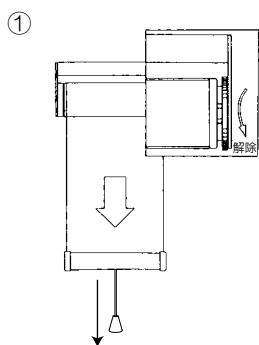
## ●解除のしかた

- 1) 生地をリミットストッパーの設定位置まで巻き上げてください。
- 2) 設定ダイヤルを、①サイドブラケット側に引きながら②手前へ約60°(回転の止まる位置まで)まわすと解除されます。



※リミットストッパーの設定位置以外で解除すると、次に設定しても設定位置に止まりません。その場合、以下の手順で操作を行ってください。

- ①設定ダイヤルを解除状態にして、生地を一番下まで降ろしてください。
- ②設定ダイヤルを奥に60°まわし、設定状態にして巻き上げてください。
- ③巻き上り途中でストップします。(途中でストップしない場合は①、②を繰り返してください)
- ④③の状態で設定ダイヤルを手前に60°まわし、解除状態にします。
- ⑤前ページの設定方法にしたいが、再度設定をおこなってください。



※図・写真はシールドなし

※RS-7261～7266「プーロ」はウォッシュャブル生地ですが、洗濯によりはっ水性能・抗かび性能が低下しますので、十分ご理解の上、実施願います。

※シールドの生地部は洗濯できません。シールドから生地を外すと破れたり、ほつれるおそれがあります。

### ●生地の取外し方

必要な工具：六角レンチ(3mm)※プルコード式、ワンタッチ式のみ

#### 1) 製品を取外します。

製品を取付けブラケットから取外してください。(8ページ参照)

#### 2) 左側のサイドカバーまたは、サイドブラケットカバーを取外します。(14ページ参照)

〔対象：プルコード式・ワンタッチ式のみ、チェーン式・チェーン持出し操作式は、3)へ進んでください。〕

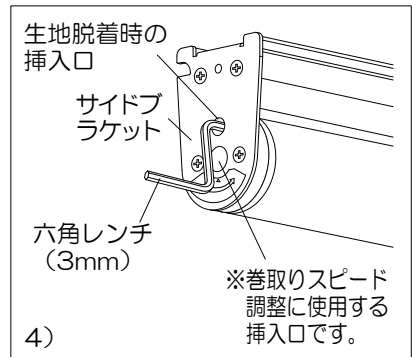
#### 3) 生地を全て引き出します。

巻取りパイプが露出するまで生地を引き出します。

※プルコード式・ワンタッチ式の場合は、この状態で生地が巻き戻らない位置で止めてください。

#### 4) 巻取りパイプを固定します。

〔対象：プルコード式・ワンタッチ式のみ、チェーン式・チェーン持出し操作式は、5)へ進んでください。〕

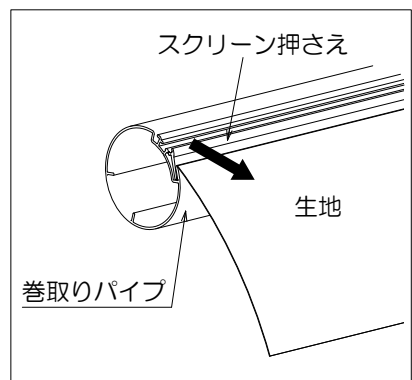


製品を正面から見て、左側のサイドブラケット側面の上側の挿入口に、製品購入時に付属の六角レンチ(3mm)を挿し込みます。

※六角レンチ以外のものを挿し込むと、故障の原因になりますのでおやめください。

※確実に六角レンチを挿し込んでいないと、巻取りパイプが自動的に逆回転し、初期巻きが解除されます。

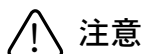
洗濯後、本体に生地をセットするまで六角レンチを抜かないようにしてください。



※図はシールドなし

5) 生地を巻取りパイプから取外します。

スクリーン押さえのつばの部分巻取りパイプの端から引っばると生地ごととはがれます。

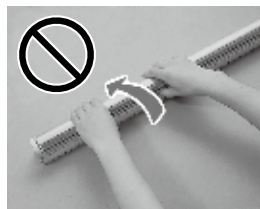


**注意**

・サイドブラケットについているネジは絶対にゆるめないでください。ネジをゆるめると製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

・プルコード式・ワンタッチ式の場合、下図のようにパイプをまわさないでください。ストッパーが解除され、巻取りパイプが、急激に回転し、けがをする恐れがあります。

※ストッパーが解除され、巻取りパイプが回転してしまった場合、巻取りパイプのスプリングの初期巻きが解除されてしまいます。23ページの＜初期巻きを解除した場合の調整方法＞の通り、調整してください。



※写真はシールドなし

### ●初期巻きを解除した場合の調整方法（※プルコード式・ワンタッチ式のみ）

①洗濯後の生地を本体へのセット方法（25ページ参照）にしたがって、スクリーン押さえを巻取りパイプの溝にはめ込んでください。

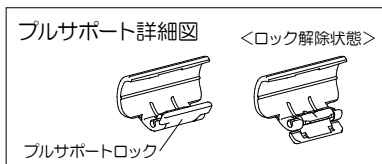
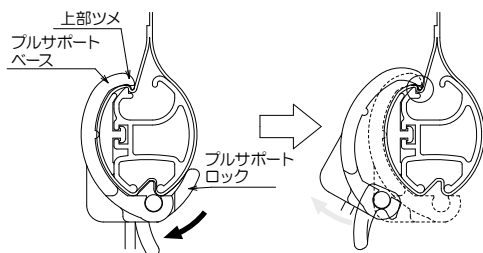
②巻取りスピードの調整位置（13ページ参照）のサイドカバーまたはサイドブラケットカバーを外し（14ページ参照）、六角レンチまたはマイナスドライバーで【強】の方向にまわしてください。（製品のフレームを持ち、2人以上でおこなってください）このとき、巻取りパイプが回転し生地が巻き取られますので、生地が完全に巻き取れるまで回転させてください。

以上で通常の状態に戻りますが、何度か昇降し巻取りスピードの調整（13ページ参照）をおこなってください。なお、生地巻きずれが発生している場合、製品購入時に付属の巻きずれ調整シールにて調整してください。

6) プルコードサポートを取外します。

（※プルコード式、ウェイトバー袋縫いの場合のみ）

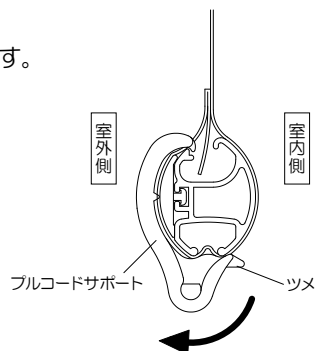
室内側についているプルサポートロックを押下げ、プルサポートベースを後方に外します。





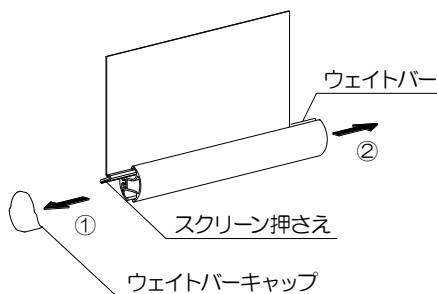
＜コットンブル、プルハンドルの場合＞

室内側についているツメを押下げながら室外側に外します。



7) ウェイトバーを取外します。

- ①ウェイトバーの端部のウェイトバーキャップを取外し
- ②ウェイトバーをヨコ方向にスライドさせて抜取ります。



**注意**

- ・ 取外したウェイトバーの端部を不用意に扱わないでください。不用意に扱うと、思わぬけがをする恐れがあります。
- ・ 取外したウェイトバーキャップ、ウェイトバーはお子様がふれないように保管してください。誤飲やけがをする恐れがあります。

## ●生地洗濯

### 《注意事項》

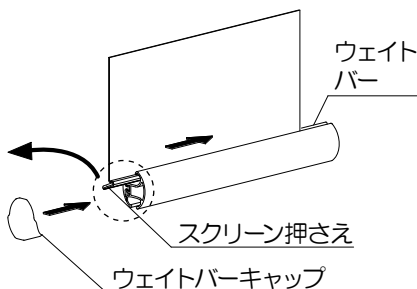
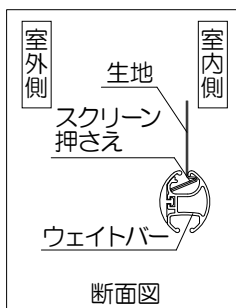
- ・ 生地の一部が汚れた場合でも、部分的に拭き取りをせずに丸洗いしてください。
- ・ 衣類など他のものと一緒に洗わないでください。
- ・ 生地はネットに入れたり、強く折りたたんだりすると折りじわが残る可能性があります。自然な状態（ふんわりとした状態等）で洗濯機に入れてください。
- ・ 生地洗濯は生地に縫付けられている取扱い表示ラベルに従っておこなってください。
- ・ アイロンをかける場合、スクリーン押さえには、アイロンをあてる等、熱を加えないでください。

## ●洗濯後の生地の本体へのセット方法

1) 乾燥後の生地の下部にウェイトバーを取付けます。

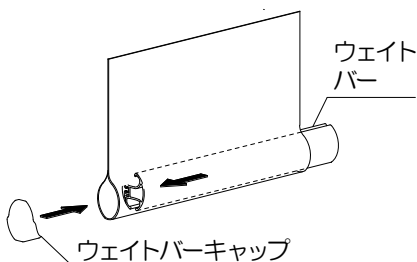
《ウェイトバー露出の場合》

スクリーン押さえの向きに注意しながら、生地をウェイトバーに挿入し、両側のウェイトバーキャップをはめ込みます。



《ウェイトバー袋縫いの場合》

生地の袋縫い部分に、ウェイトバーを挿入し、両側のウェイトバーキャップをはめ込みます。



注意

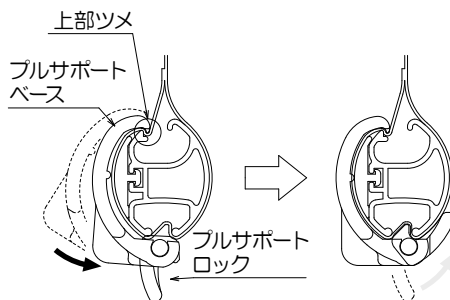
- ・ウェイトバーを生地に取付ける時は、ウェイトバーの端部を不用意に扱わないでください。不用意に扱うと思わぬけがをする恐れがあります。
- ・ウェイトバーキャップは必ず、ウェイトバーに取付けてください。ウェイトバーキャップを取付けていないとウェイトバーの端部が露出し、思わぬけがをする恐れがあります。

2) プルコードサポートを取付けます。

(※プルコード式、ウェイトバー袋縫いの場合のみ)

プルサポートベースの上部ツメをウェイトバーの室外側上端に引掛け、手前に引き、室内側にあるプルサポートロックを押上げます。

※プルコードサポートは必ず幅方向の中央に取付けてください。中央以外に取付けると巻きずれの原因になります。

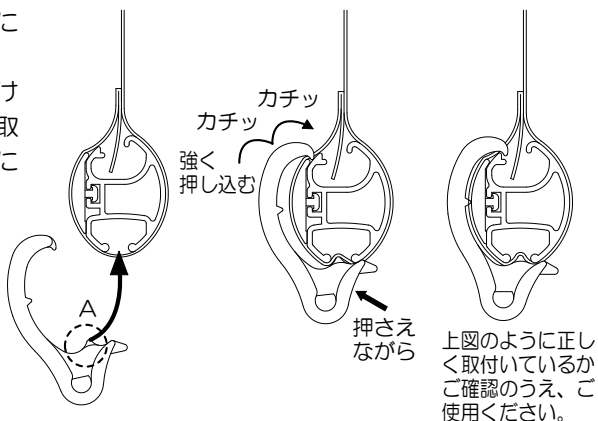


＜コットンプル、プルハンドルをオプション選択した場合＞

- ①プルコードサポートのA部分をウェイトバーの下部の溝にはめます。

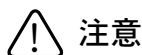
※必ず幅方向の中央に取付けてください。中央以外に取付けると巻きすれの原因になります。

- ②プルコードサポートを下から押さえながら、「カチッ、カチッ」と2回音がするまで強く押し込みます。



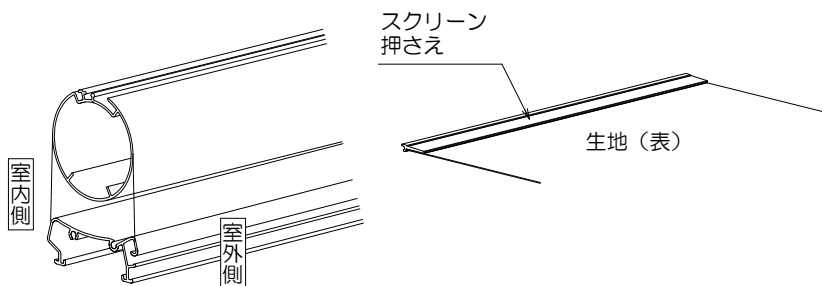
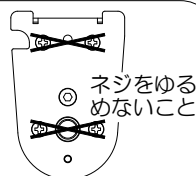
- ③取付け方向を確認します。

- ・製品本体を下図のように、逆さにして室外側が手前になるように置きます。
- ・生地は表（室内側）が上になるように置きます。



**注意**

サイドブラケットのネジをゆるめるなどして外すことは絶対にしないでください。ネジをゆるめると製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

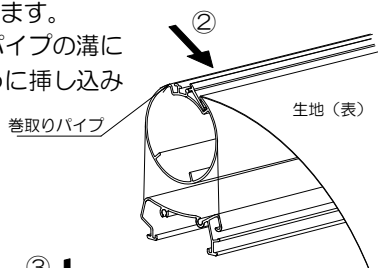
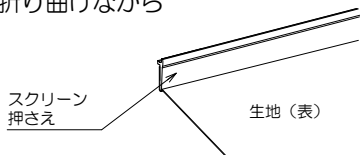


※図はシールドなし

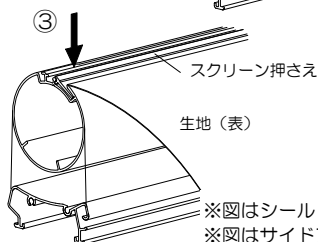
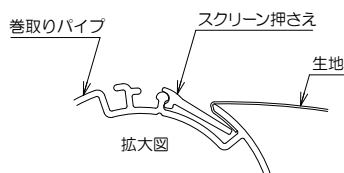
4) スクリーン押さえを巻取りパイプの溝にはめ込みます。

①スクリーン押さえのところで  
折り曲げながら

②巻取りパイプの溝に  
図のように挿し込み



③スクリーン押さえを押し込みながら  
パイプの溝にはめ込みます。



※図はシールドなし  
※図はサイドブラケット  
を省略しています。

5) 製品本体の側面に挿し込んでいた六角レンチを抜いてください。

（ブルコード式・ワンタッチ式のみ）

※六角レンチを抜いた時に、生地が急に巻き取られることがありますので、必ず巻取りパイプを手で押さえ、巻き取られない状態で六角レンチを抜いてください。

6) サイドカバーまたはサイドブラケットカバーを取付けます。（14ページ参照）

7) 生地を巻取りパイプに巻き取ります。

### ●ブルコード式の場合

①パイプを回転させてストッパーを解除します。パイプの自動回転を利用しながら、少しずつ生地を巻き取ってください。

※ストッパー解除後は、ウェイトバーを持ちながら、ゆっくり生地を巻き取ってください。

②製品の向きを確認し、製品を取付けブラケットに取付けてください。（6ページ参照）

### ●チェーン式・ワンタッチ式の場合

①製品の向きを確認し、製品を取付けブラケットに取付けてください。（6ページ参照）

※生地がしわにならないように注意して取付けてください。

②製品を操作して生地を巻取りパイプに巻き取ります。（10ページ参照）

※しわが出た場合は、生地をしわが出ない位置まで引っ張り、再度巻き取ってください。

※何度か昇降し、巻きずれが発生している場合、付属の巻きずれ調整シールにて調整してください。調整方法はシールをご覧ください。

# お手入れのしかた

- 日頃のお手入れは、はたきやハンディモップ等で汚れやほこりを取払ってください。  
その際、折ったり曲げたりするとシワが付き、痕が残りますのでご注意ください。
- ウォッシュابل生地の場合、ご家庭の洗濯機で洗うことができます。生地の一部が汚れた場合は、部分的に拭取りをせず、丸洗いしてください。

## こんなときは

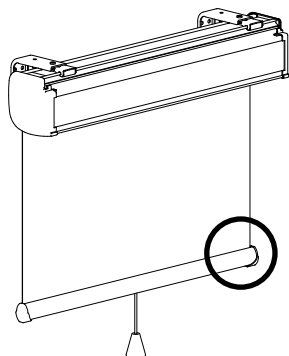
| 症 状                   | 原 因                                            | 処 置                                                                                                                                                          |
|-----------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生地が巻取りパイプにきれいに巻き取られない | ・ 取付け面が水平でない                                   | ・ フレームが水平になるように取付け面を調整してください。                                                                                                                                |
|                       | ・ ブルコードを真下に引いていない                              | ・ ブルコードはウェイトバーの中央部に取付け、真下に引いてください。                                                                                                                           |
|                       | ・ 生地の伸縮等                                       | ・ 付属の巻きずれ調整シールをシールに記載の説明にしたがって取付けてください。                                                                                                                      |
| 生地の端部がほつれてきた          | ・ 生地がサイドブラケットに当たっている                           | ・ 巻取りパイプにきれいに巻き取られるよう調整した後、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。                                                                                                          |
| 巻取りスピードが弱い            | ・ スプリングモーターの力が弱い                               | ・ 13ページの巻取りスピードの調整のしかたにしたがって、スプリングモーターを強方向にまわして、巻取りスピードの調整をおこなってください。                                                                                        |
| 巻取り操作が重い（チェーン式）       | ・ スプリングモーターの力が弱い                               | ・ 13ページの巻取りスピードの調整のしかたにしたがって、巻取りスピードの調整をおこなってください。                                                                                                           |
| 生地のにおいが気になる           | ・ 生地の素材によりにおいを感じる場合がある                         | ・ 換気をおこなってください。                                                                                                                                              |
| 操作時にがたつく              | ・ 正しく取付けられていない<br>・ 製品が外れかかっている<br>・ 部品が破損している | ・ 製品落下の恐れがありますので、すぐに使用をやめてください。ブラケットを確認し、製品の取付けかた（5～8ページ）に従って、正しく取付けてください。<br>操作時にがたつきがないことを確認できましたら、ご使用いただけます。<br>がたつきが解消されない場合は、お買い上げいただいた販売店に速やかにご連絡ください。 |

※お取り替え用の生地もご用意しています(有償)。ご購入の際は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

# メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品の生地No.、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けてあります。修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。  
お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

## 【メンテナンスシール貼付場所】

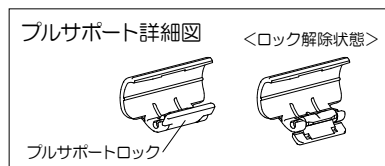
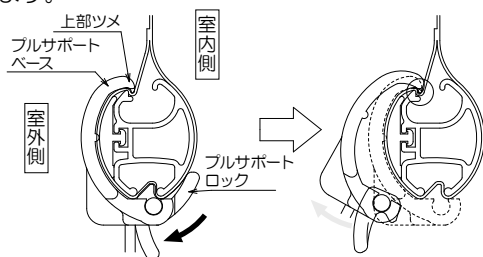


製品正面から見て  
ウェイトバーの右側裏面

## 「ウェイトバー袋縫い」の場合のご確認方法

「ウェイトバー袋縫い」の場合はウェイトバーが筒状になった生地の中にあり、メンテナンスシールは直接ご確認くださいませ。以下の手順でウェイトバーを生地から抜き出してご確認くださいようお願いいたします。

- ①プルコード式をご使用の場合は下図の通り、プルコードサポートを取外してください。  
室内側についているプルサポートロックを押下げ、プルサポートベースを後方に外します。

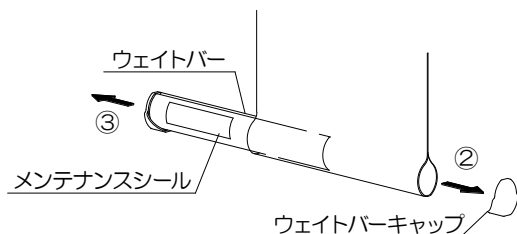


※コットンブル、プルハンドルの場合は、24ページをご確認ください。

- ②製品正面から見て左側（製品裏面から見て右側）のウェイトバーキャップをウェイトバーから外してください。

# メンテナンスシールのみかた

- ③製品正面から見て右側（製品裏面から見て左側）からウェイトバーを15cm程度生地から抜き出していただくとメンテナンスシールが露出します。

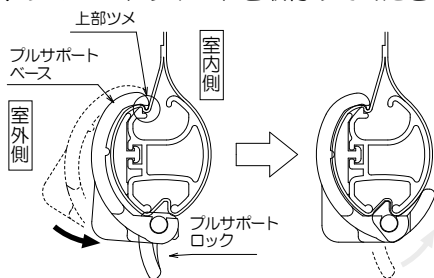


メンテナンスシールのご確認後はウェイトバーを元通り、生地には差込み、外したウェイトバーキャップをウェイトバーに取付けてください。

- ④プルコード式をご使用の場合は下図の通り、プルコードサポートを取付けてください。

プルサポートベースの上部ツメをウェイトバーの室外側上端に引掛け、手前に引き、室内側にあるプルサポートロックを押上げます。

※プルコードサポートは必ず幅方向の中央に取付けてください。中央以外に取付けると巻きずれの原因になります。



※コットンプル、プルハンドルの場合は26ページをご確認ください。

## 【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、この●部18桁（「-」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。

